

# 都立光丘 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 国語 科目 古典探究

教科： 国語 科目： 古典探究 単位数： 2 単位  
 対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組  
 使用教科書： （ 新編古典探究（東京書籍） ）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	古文編1部1「説話に親しむ」 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 主語を確認しながら、話のあらすじを読み取る。 登場人物の心情を読み取る。 ・教材 十訓抄「大江山の歌」 ・一人1台端末の活用 等	○	○		【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。	○	○	○	4
	古文編1部1「説話に親しむ」 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 主語を確認しながら、話のあらすじを読み取る。 登場人物の心情を読み取る。 ・教材 十訓抄「大江山の歌」 ・一人1台端末の活用 等		○		【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。	○	○	○	5
	定期考査			○			○	○		1
	古文編1部3「作り物語を読む」 【知識及び技能】 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 「天の羽衣」の場面の登場人物を確認し、それぞれの発言内容から「心情」を把握する。 ・教材 竹取物語「天の羽衣」 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。	○	○	○	7
	古文編1部3「作り物語を読む」 【知識及び技能】 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 「天の羽衣」の場面の登場人物を確認し、それぞれの発言内容から「心情」を把握する。 ・教材 竹取物語「天の羽衣」 ・一人2台端末の活用 等			○	【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。	○	○	○	7
	定期考査				○		○	○		1

2 学 期	古文編1部5「日記を読む」 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のもの見方、感じ方、考え方を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1 当時の月日や時刻の呼び方について知る。 2 この章段に書かれている旅立ちの事情を読み取る。 3 臚化表現、機知を感じさせる表現を指摘し、この作品の特色を考える。 4 冒頭の一文から、作者がどのような日記を書こうとしているのかを考える。 ・教材 土佐日記「帰京」 ・一人1台端末の活用 等	○	【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。	○	○	○	7
	古文編1部5「日記を読む」 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のもの見方、感じ方、考え方を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1 当時の月日や時刻の呼び方について知る。 2 この章段に書かれている旅立ちの事情を読み取る。 3 臚化表現、機知を感じさせる表現を指摘し、この作品の特色を考える。 4 冒頭の一文から、作者がどのような日記を書こうとしているのかを考える。 ・教材 土佐日記「帰京」 ・一人1台端末の活用 等	○	【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。	○	○	○	7
	定期考査		○					1
2 学 期	漢文編1部4「塞翁が馬」 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のもの見方、感じ方、考え方を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1 本文を繰り返し音読する。 2 正しい訓読をもとに語彙を調べ、正確に現代語訳する。 3 「塞翁」と周囲の人々の場面ごとの言動を確認する。 4 本文に述べられている「禍」と「福」について順番に指摘させ、ノートにまとめる。 ・教材 「塞翁が馬」(淮南子) ・一人1台端末の活用 等	○	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているもの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。			○	7
	漢文編1部4 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のもの見方、感じ方、考え方を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1 本文を繰り返し音読する。 2 正しい訓読をもとに語彙を調べ、正確に現代語訳する。 3 「杞」の国の人が何を恐れているのか確認する。 4 故事成語について調べ、ノートにまとめる。 ・教材 「杞憂」(列子) ・一人1台端末の活用 等	○	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているもの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。				7
	定期考査		○					1
3 学 期	古文編1部5 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のもの見方、感じ方、考え方を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1 全文を繰り返し音読し、その構成と内容を捉える。 2 「人」と「雁」と、「ゆく河の流れ」と「淀みに浮かぶうたかた」との類似点について考える。 3 「無常を争ふさま」とはどのようなことを踏まえて、『方丈記』で描かれる「無常観」について考える。 ・教材 方丈記「ゆく河の流れ」 ・一人1台端末の活用 等	○	【知識及び技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているもの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。				7
	古文編1部5 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のもの見方、感じ方、考え方を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1 全文を繰り返し音読し、その構成と内容を捉える。 2 「花は盛りに～見るものはは」、では、どうしたいと考えているのか、筆者の主張をまとめる。 3 世の中の常識に疑問を投げかけ、自分の意見を主張するためのしっかりとした根拠について考える。 ・教材 徒然草「花は盛りに」 ・一人1台端末の活用 等	○	【知識及び技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているもの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。				7
	定期考査		○					1

合計

70